

あけましておめでとうございます。

18-001号
通巻:181

新年、あけましておめでとうございます。平素は、クラージュ総合会計事務所を格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。今年も社会的、経済的に様々な変化がありそうです。私どもの仕事に直接関係する税法や経済の仕組みも大きな変化が予想されます。2018年も皆様のお役に立つ情報を発信してまいります。本年最初のニュースをお届け致します。本年も、よろしくお願いいたします。

税制に関して言えば、今年からいよいよ様々な増税のプランが始まります。

来年施行予定の消費税の10%化、個人所得税の高所得者への様々な所得控除の廃止、懸案であった相続税、贈与税の本格的な改正への議論の開始などなど。その見返りとも言える法人税率の引き下げはあるものの、国民自身においては増税が強く感じられる施策となりそうです。国家の財政健全化というお題目を盾に、この傾向はまだまだ続きそうです。増税の話は直接的な税金ではありません。国民健康保険、社会保険、介護保険なども、その保険料や給付に関して、国民の負担は増えていきます。徴収する国にとっては、直接的な税金であろうと、保険料の名目であろうと同じ事です。

確かに国家の財政の健全化は、将来の為にも改善しておく重要な事と思いますが、その内容について明確に説明されているとは思えません。様々な制度の立場での説明は良く聞きます。医療保険制度、介護保険制度、年金制度等の個々の制度の仕組みでの将来性が議論されます。でも、国家全体における財政の健全さ不健全さについて、何が不健全で、このままだとどうなって、実際に国民にどんな影響が出るのか、そういう事に関して具体的に正しい情報や説明がされていない様に感じます。

因みに**日本の人口規模は、2016年時点で世界で11番目（1億人を超えるのは、12カ国だけ）で、国家予算の規模のランキングでは、アメリカ、中国に次いで3番目です。**（予算が大きいと言うことは、歳入規模も大きく3番目です。）じつは、世界のG20と呼ばれる国で、財政収支が黒字なのはたった4カ国(ドイツなど)だけです。大半の国家が収支が赤字なんです。人口が多いとはいえ、世界で3番目の予算規模の日本が、どうして毎年赤字で借金が増える一方なんでしょう。何か単純にお金の使い方が下手ではないのかと、考えてしまいます。増税に関しても、その情報や判断が国民に共有されていれば、理解が進むように思います。

今回は長谷川が担当です。

長谷川が昨年出会って、読んだ書籍の中で気に入ったものをご紹介します。

まず1冊目。 『人工知能の「最適解」と人間の選択』

NHKスペシャル取材班 NHK出版新書 780円

昨年ご紹介した、『人工知能の核心』羽生善治共著に続く、人工知能をテーマにした第2弾です。日常的に目や耳にする機会が増えたAI、人工知能という言葉ですが、実際に人工知能を感じることはあまりありません。でも、物質的に目に見えるものではなく、その利用のされ方も様々なので、気が付かないだけの様です。まだまだ研究段階、SFに近い様なイメージだったのですが、びっくりするような分野で人工知能がすでに活用されているのを知り、びっくりしました。そして、その利用が私たちの生活や人生に影響を及ぼす場面で活用が進んでいます。その人工知能の存在や能力を肌で感じている現場や人々の、気持ちや戸惑い、感動などが紹介されています。そして、最後に、『人工知能は、天使か悪魔か』というテーマで結ばれています。

人類が前世紀に手にした核という技術は、様々な恩恵を与えてくれる反面、未だ技術的にも倫理的にも完全なコントロールが出来ていない技術です。人工知能も、そのような技術の様な気がします。今後も注目していくべきテーマと感じています。是非、ご一読を！！

次の2冊目。 『投資なんか、おやめなさい』

荻原博子著 新潮新書 760円

最近の株高や仮想通貨(バブル?)など、様々な投資行為が話題にあがります。投資をする事は、決して悪いことではありませんし、考えるべき経済活動です。日々、様々な投資の勧誘、お誘いがあります。その勧誘では、様々な投資商品が紹介されるのですが、なかなかその真贋や、内容の仕組みを理解するのは難しくなっています。また、その説明が、本当に真実の姿を現しているとも判断できません。

この著作は、そのような投資、金融商品の仕組みや、どのようにその商品が販売されるのかをわかりやすく、批判的に説明してくれます。投資や金融商品と無関係でいることは出来なくなっています。是非、その商品の内容、考え方や向き合い方についてしっかりと知識を得た上で、原点に戻って検討する必要性を教えてください。銀行や、保険会社などから金融商品の勧誘を受けてどうしようか迷った時に、少し知っていれば判断する助けになる知識と思います。ご参考にしてください。

クラージュ総合会計事務所 長谷川治雄

今年も、クラージュニュースをよろしくお願いたします。